



巡礼その三十 インド 9 南インド

2010年4月28日

6時起床、外は大雨。スーツケースは成田に送ってある。コーヒーを飲んで7時45分出発。家の前でタクシーが捕まったので渋谷まで行きJRで品川へ。駅中でカツサンド、妻はおにぎりセットを買う。久しぶりの成田は空いていた。チェックインしてラウンジへ行く。運賃は値上げしたがシートはほぼ水平になる。食事もおいしくお昼はロブスターのアメリカンソースでつけあわせのポテトとグリーンピースもおいしい。デザートはイチゴのケーキも良い。映画は選べるので炎のランナーをまた見た(3回目)。エアーインディアはおつまみが最高なので今回も沢山集めた。5時頃チーズとサーモンのサンドイッチが出る。デザートは生クリームと栗のタルトで上にドライフルーツ(ナツメ?)が乗っていてとても美味しい。妻は白ワインを5杯ものんで寝てしまった。一時間半遅れでデリーに着く。空港はとても空いていてスムーズに外に出た。ガイドのサティジャに会う。外はねっとり暑くこの瞬間がたまらない。デリーを感じる瞬間である。サニさんがとってくれたトライデントホテルは出来たばかりでとても綺麗である。建築もインテリアもなかなかで、部屋は何とスイートルームであった。まずはプールへ行ってみる。25mの広いプールで周りはプルメリアに囲まれ、照明は水中照明と松明である。素晴らしい。もちろん誰もいない。町中なのにとっても静かである。部屋に戻って広いジャクジーバスに入り、ルームサービスでトマトスープとマルゲリータピザを頼む。料金も東京なみである。おそらく日本人モニターみたいな形で、バイシャリーに低料金でサービスしたのではないかと思う。デリーは競争が激しいので旅行会社を通じて日本人確保を狙ったものかもしれない。12時半に寝る。

4月29日

2時半起床、うだうだして3時半にロビーへ行き、チェックアウトと両替をす

る。ロビーに用意されたコーヒーとデニッシュを食べて4時半空港へ。30分遅れて離陸。イドゥリーなどの南インドの朝食が出る。30分遅れで到着。現地ドライバーと会う。とても若く運転は荒い。サティジャさんは必ずドアの開閉をするが、ドライバーは忘れる。まずマハバリープラムへ行く。チェンナイ市内は渋滞がひどく、何とか抜けてタイガーケーブ (YALI MANDAPA) へ行く。とても綺麗に整備されたが、観光客はいない。今回始めて訪れる ATIRANACHANDA MANDAPA は素晴らしい。マヒシャスラムルディニーの彫刻やソーマスカンダ、碑文などが彫られている。この辺一帯は発掘調査をしている。町の入り口にある MUKUDANAYANAR TEMPLE を写し、いよいよ5つのラタから見学を始める。とても暑く日影がない。さすがに観光客が多い。次に TRIMURTI MANDAPA へ行きまだ行ったことがない RAYALA GOPURAM を見学する。これは見るからに年代が違う。暑さでへろへろになりお昼になったので町のムーンレーカーという外国人に人気のレストランでナス、オクラ、マッシュルームの3種のカレーを頼む。サティジャさんはベジタリアンである。また見学を始め最後の海岸寺院ではもう死にそうになる。ホテルは以前泊まったテンプルベイアショクであるが、数ヶ月前にラディソンに変わったそうだ。カートでコテッジまで行く。海のすぐ前のとても良い場所にあるがフロントまで遠い。インド最大のプールがあるというので見たら池である。とても泳ぐ気がしない。シャワーを浴びたらぐったりして動けなくなる。7時にサティジャさんと歩いてお昼に食べたレストランの前にあるブルーラグーンというレストランに行くが疲れて歩けない。取りたてのエビのガーリックバター炒めとキャベツとグリーンピースのカレー、オニオンパコラ、野菜チャーハンを食べる。疲れて歩けないのでオートリキシャでホテルまで帰る。ホテルのショップでネイティブインディアンが作ったガネーシャを60ドルで買う。満月が海に映ってとても美しかった。すぐ寝る。

4月30日

6時に出発。チーズサンドイッチをテイクアウトする。出発する時とても美しい虹が出ていた。昨日見学できなかったガンガーの下降へ行く。岩の上に虹がかかり美しい。カンチープラムへ向かう。車の中でチーズサンドイッチを食べる。カイラーサナータは素晴らしい。ここで現地のガイドを雇ってカンチーを廻る。まず TIRUPPARUTIKUNRAM CAVE がわからない。VAUDHAMANG TEMPLE は天井画が素晴らしいジャイナ教寺院であるが写真はだめだという

のでパス。MATANGESHWARA、VAIKUNTHAPERUMAL へ行き今回初めての IRAVATANESHWARA へ行く。なかなか保存状態の良い寺院である。すぐ前に同時代の寺院 DAIRAVATESHWARA があるので写す。次の目的地 UTTARAMERUR へ行くが目的の SUNDRVA TEMPLE は中に入れない。入り口で本を買う。町の中にあるバイクンタ寺院を写し、もう一つのカイラーサ寺院へ行く。修復中であるが修復の過程が解って面白い。お昼なので町の食堂へ入り、チキンビリヤニ、卵のカレー、サンバル、セブンアップ 2 本、ミネラルウォーター 2 本で 140 ルピーであった。次の PANAMALAI はとても遠かった。細い道に入り、凸凹道をどんどん行くとサトウキビ畑があり、さらに進むと大きな岩が見えてくる。この岩の上に寺院がある。妻はパスして木陰で休んでいる。炎天下の階段をひたすら登る。救いは風だけである。やっと寺院につくとおばあさんと小さい子供がお寺を守っている。本尊のリングを見せてもらう。ここからの眺めは 360 パノラマで南インドの風景が広がる。

もと来た道に戻り MANDAGAPATTU へ行く。わりと近くで川のそばに石窟がある。周囲にはクリシュナのバターボールの様な巨石が多い。何もない石窟であるが入り口のドゥパラパーラが素晴らしい。ここで遊んでいる子供たちと記念写真を撮る。みんなシャイである。DALAVANUR が大変である。ドライバーが全く違う所を探している。資料ではマハバリープラムから南に 60km なのにその先を探している。石窟であるから岩場のはずが畑ばかりで、凸凹道を 2 時間も探しまわった。あきらめて CIDAMBARAM へ戻る。夕食の時間になってしまったのでドライブインでチーズが入ったドーサとカリフラワーが入ったドーサとシンガポールヌードルを食べる。CIDAMBARAM に憑いたの 8 時を過ぎていた。ホテルはトラベラーズロッジの様な所で 10 時半頃寝る。

5月1日

3 時頃目が覚めてしまう。外は大雨で 5 時頃までうとうとしてして 6 時にロビーへ行く。妻は調子が悪そうなのでパスする。妻の傘を借りてサティジャさんと二人でナタラージャ寺院へ行く。参道の前はくるぶしの上まで水があふれている。サティジャさんは傘がないのでずぶぬれである。まだ暗く雨が降っているので写真がよく撮れない。大寺院なので 6 時のプジャーは大混雑である。境内はとても広く迷子になる。本殿の中庭で写真を撮っていたら怒られた。タンクや楼門を写して一時間ほどでホテルに戻ると妻は元気になり、3 人でバイキングの朝食を食べる。イドリーにチーズをのせて焼いたものが美味しかった。

出発したが妻がレストランにポットを忘れとりに戻って8時30分出発。MELAKKADAMBURのAMRTAGHATESVARAへ行くが鍵がかかっている境内に入れない。がっかりしているとサティジャさんがどこからか鍵を持ったブラフマーを連れてきた。とても良い人で色々説明してくれた。良い寺院で雨も小降りになり傘はいらない。基壇のシヴァ派の聖人にまつわるエピソードが大変興味深い。次のGANGAIKONDACOLAPURAMへ行く途中パンクする。雨はすっかり上がり曇りでコンディションは最高である。晴れ男復活。とても素晴らしい寺院である。周りにはなにもないが1000年前は首都であった。30ルピーでリムカを飲む。DARASURAMのAIRAVATESVARAも大きな寺院で外側のオープンの回廊がすごい。ここの基壇にもシヴァ派の聖人のエピソードが刻まれている。12時の鐘が鳴らされた。南インドの寺院はお昼に閉まってしまい夕方にならないと開かない。KUMBAKONAMの寺院も閉まってしまうかもしれないので急いで向かう。幸いNAGESVARA寺院は開いていた。この寺院は今回の目玉の一つでラーマヤナの彫刻が見物である。ここで事件が起きた。ゴープラムの所で脱いだサンダルが見つからない。周りの人達が騒いでいるが何を言っているのか解らない。サティジャさんが寺の人に連れて行かれた。きっと盗まれたかお金を要求されたかと不安になっていると笑顔で戻ってきた。何のことはない違うゴープラムの所で脱いできたのだ。周りの人達はそれを教えてくれたのだ。これをチョッパル(サンダル)事件という。TIRUMEYJNANAMのJNANAPAMESVARAへ行くがどうも違うみたいだ。その時代とは思えない寺院で彫刻もない。お昼になったのでドライバーが知っているレストラン「スリートップス」へ行く。とても静かで木が多い綺麗なレストランで外国人観光客の団体がいてバイキングになっていた。一人250ルピーなのでここで食べる。キャベツと人参のスープが絶品で3回もおかわりした。魚のムニエルもおいしいデザートプリンも最高であった。PULLAMNGAIはすぐ解ったがここも鍵がかかっている。寺院の前は民家になっているのでサティジャさんが聞き込み調査したところによると、鍵を持っているのは寺院の隣のおばあさんであることが解った。そこでおばあさんに頼んで鍵を開けてもらった。寺院前であそんでいた子供たちがついてきた。最後に子供とおばあさんに妻がミルクを配った。みんな大喜びで集合写真をとった。タンジャブールへ行きホテルPARISUTHAMにチェックインする。なんと入り口で可愛いお姉さんが冷たいおしぼりをくれ、さらにセブンアップを出してく

れる。インドでは珍しいサービスである。新しくはないがとても綺麗で地方のホテルとしては素晴らしい。部屋は一階で庭に面しており、ドアを開けるとベランダですぐ前がプールである。ひと泳ぎしてゆっくりする。7時半に庭で民族ダンスがあるので見学する。女子(12~3歳)と男の人(40歳位)が交互に踊る。おそらく親子か? 男の人はお化粧してオカマみたいであるがとても上手い。女の子も上手い。その後ホテルのレストランでキャベッジボール、マッシュルームトースト、パニールマサラ、チャパティを食べる。キャベッジボールとはキャベツの中をくり抜き、ジャガイモ、人参、キャベツを細かく刻み、炒めてキャベツに戻し、蒸して最後にバターソースをかけたものである。ラッシーを頼んだらとても濃くて水がないと飲めなかった。10時に寝る。

5月2日

5時起床、6時に BRIHADISVARA 寺院へ行くが既に沢山の人がいる。今日は日曜日であった。境内にとっても人懐っこいイヌがいて妻と遊んでいた。すべてが巨大な寺院だ。リムカを飲んでホテルに戻り朝食。バイキングでとてもおいしかった。8時半に出発するがまた例によってとんでもない所へ行く。もう次の NARTTAMALAI へ行けというもまた迷う。我々が地図を見たら1時間で行ける所を迷いついたのは12時であり、さすがに切れた。ドライバーはロードマップさえ持っていない。携帯で場所を一日中聞いている。行く所は半年前から解っているのだから勉強しておけと言いたい。やはり地元のガイドを付けなかったのが失敗だった。もう予定を大幅に変更するしかない。NARTTAMALAI は山の上でありちょっとしたハイキングである。とても気持ちのよい場所であるがなぜここに寺院を建てたのかが良くわからない。石材が豊富だからか。もうお昼であるが時間がないので次の KODUMBALUR へ行く。MUVARKOVIL 寺院は良い寺院であるが入場料を取る。ここから TIRUCHY の町へ行く。とても大きな町である。町の中心にロックフォートと呼ばれる巨大な岩山がありその一番上に石窟寺院がある。入り口から急な階段をかなり上ると、小さな祠が何カ所もある。さらに登り頂上に出ると素晴らしい眺めである。そこにラリターンクラの石窟があり、とても古いガンガーの下降の素晴らしい彫刻がある。今日は日曜日なのでとても大勢の人達が来ており、みんな銘々石窟に座っていて写真が良く撮れない。入り口で靴を脱いでいるので外を歩くと足がとても熱い。SANGAM ホテルへチェックインする。プールへ行ったら子供がうじゃうじゃいて水泳教室をしていたので部屋に戻る。7時にホテルのレストランへ行く。

マッシュルームを揚げてオニオンとガーリックで炒めたもの絶品、タンドリーチキン、ダル絶品、ハウレン草とチーズのカレー、ラッサムスープを飲む。バナラアイスとコーヒーも飲む。

5月3日

4時半起床、5時30分出発。ホテルで朝食のテイクアウトをもらう。今日は間違えないように昨日の夜サティジャさんと十分打ち合わせをする。最初のSRINIVASANALLURは間違えずに行けた。とても良く保存された寺院である。寺院の前のチャイ屋で朝食のボックスを開ける。イドゥリーとサンバルとチーズサンドであったが、サンバルがこぼれぐちゃぐちゃになっている。窓から子供たちがのぞく。次のTIRUPPATTURが見つからない。3時間ほど迷いやつと着くが、目的の寺院が見つからない。とても大きなシヴァ寺院がありそこへ入ってみる。とても大勢ひとがいる。境内はとても広く右手の方に古いパッラヴァ朝の寺院が見える。周りはとても荒れ果てイバラとレンガのかけらで足が痛い。近づくとこれが目的の寺院であった。外からは外壁があるので解らない。このそばにもう一つ見学したい寺院があるが見つからない。あきらめて最後の寺院があるKALAIYURへ向かうがここも見つからない。郵便局でも解らない。ドライバーがここだという寺院へ行ってみる。小さい寺院で彩色されているがこれが目的の寺院であった。境内を修理していた。予定が終わったのでチェンナイへ戻る。ドライバーが飛ばすので生きた心地がしない。4時間半で着いた。2時半頃ターリーを食べる。ACの部屋もあるがもちろん無しの部屋で食べる。とても混んでいる。サンバル、ラッサム、ナスのカレー、細かい野菜のカレー、ヨーグルト、赤かぶをこまかくしたもの、ココナッツジュース等を手で食べるがサティジャさんは普段スプーンで食べているので下手である。ターリーは55ルピーであった。コーヒーを飲む。チェンナイの町は混んでいてコネマラまで時間がかかる。ホテルはリニューアルされていた。プールへ行く。誰もいない。ここのプールはとても気持ちがいい。係のおじさんがタオルを持ってきてくれる。プールから上がりデッキチェアで横になっていると、おじさんが足にかけるタオルをくれる。部屋に戻り8時にサティジャさんとロビーで待ち合わせ。7時半にホテル内のお土産物屋へ行くとサティジャさんが来た。お土産のブレスレット(50ルピー)、と妻のネックレスを買う。隣のスペンサープラザでハヌマンを800ルピーで買う。以前おいしかったホテル内のレインツリーへ行きダンスを見ながら夕食を食べる。サティジャさんは具合が悪そうで食欲が

全然ない。カニのスープ、伊勢エビのカレー（800ルピー）、野菜のビリヤーン、ココナッツの果肉とココナッツミルクとコンデンスミルクのデザートを食べる。10時半寝る。

5月4日

5時10分起床、6時プールへ。係のおじさんと挨拶する。部屋へ戻り朝食へ。7時なのに誰もいない。高級ホテルはみんな朝が遅いのか。ベーコン、トースト、鳥の唐揚げ、野菜のグラタン、ベジタブルスープ、キュウリとチーズのサンドイッチ、がおいしい。とても苦いジュースを飲んでしまった。フルーツとヨーグルト（バナナヨーグルトは絶品）を食べる。8時出発、市内見物をする。マリナビーチへ行って漁村をみる。今朝取れ立ての魚を網からはずして売っている。色々な種類の魚サメ、舌平目、鰹、青物、鯛、マナガツオ、ダツ、イカ、カニ、エビ、小魚等、小さな台の上に載せ、おばさんが売っている。漁船はボートに船外機を付けたもので2~5人乗りである。ビーチのそばの教会を見学する。博物館へ行き9時半の会館まで待つ。目的はアマラーヴァティを見たかったが、アマラーヴァティ館は休館していた。ヒンドゥー仏教館はなかなか良かった。ブロンズギャラリー館は素晴らしい。特に9~11世紀のものは必見である。ナタラージャは2階に並んでいる。アルダナリー、ソーマスカンダ等素晴らしい作品があり、妻は感激する。ブロンズギャラリーは冷房が効いているが他は冷房がないので辛い。ここで南インドのブロンズの本を買う。とても重い。1500ルピー。その後空港へ行く。比較的空いている。チェックインしてココナッツクッキーを買う。デリー行きはジェットエアウエーで食べ物は付いていないのでサンドイッチを買い、飛行機の中で食べる。中身があまり入っていない、ぱさぱさでまずい。機内で売っている方がおいしそう。出発が遅れ、1時間遅れでデリーに到着。デリーでケチャップを買う予定なので町のお店を回るがない。スーパーマーケットで4本ゲット。道が混んでいるので急いで国際線に行く。サティジャさんとお別れ。搭乗手続きを終え、出国カウンターへ行くが沢山の人が並んでいる。悪いことに私たちの列は障害者優先のカウンターに並んでしまった。さらに悪いことにすべてのカウンターは5分間閉まる交代の時間であった。やっと手続きが終わり良く見ると、ファーストとビジネスの専門の空いているカウンターがあった。信じられない。とても疲れた。ラウンジに行くが飲み物も食べ物も少ない。自分で奥の冷蔵庫からスプライトを出して飲む。日本人がとても多い。機体は来るときよりも古い。隣の若い夫

婦は座るなり薬を飲み成田まで寝たままで食事もしなかった。また一言もしゃべらなかつた。妻は元気で夕食のエビの酢豚も朝食も完食した。成田について妻がリムジンバスの切符を買いに行っている間に、テレビ東京のインタビューを受けてしまった。家で見たらゴールデンウィークの帰国ラッシュという所でバッチリインタビューされていた。